

各位

党派を超えて国家的課題を追求する  
公益財団法人協和協会  
時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信夫  
両団体理事長 半田晴久  
新エネルギー委員長 中島 稔  
両団体専務理事 清原 淳平

## 新エネルギー委員会のお知らせ (第317回)

日時 平成29年11月7日(火)午後1時半～4時  
場所 参議院議員会館 1階 102会議室

千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・千代田線)①番出口より5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「102会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

議題 1、最近の再生・新エネルギーについて想う

挨拶 中島稔新エネルギー委員長

2、低コスト・超高効率太陽電池の実現に向けて

解説 産業技術総合研究所太陽光発電研究センター  
先進多接合デバイスチーム 菅谷武芳チーム長

3、『新エネルギー関連ニュースNO.171』

解説 中島稔新エネルギー委員長

報告 去る10月7日開催の第316回新エネルギー委員会は、中島稔新エネルギー委員長が議長を務め行われました。

まず、清原淳平専務理事より、本日の講師・資源エネルギー庁長官官房総務課・調査広報室大石知広室長補佐の経歴紹介がありました。

次に、中島委員長より、「最近の再生・新エネルギーについて想う」と題して開会挨拶がありました。中国でガソリン車規制、電気自動車中心を義務付ける規制が2年後から開始される。いまや中国は年間約3千万台を売る自動車大国だが、現在電気自動車は年間50万台にすぎず、果たして2年で実行できるのかは不透明だ。

次に、大石補佐より、「エネルギー白書」について解説をいただきました。温暖化が顕在化してから東日本大震災までは、原子力重視の政策により、わが国は世界最高の省エネ国家であったが、震災を機に原発が一時的に全停止した。その分を天然ガスの輸入などによって賄ったが、これによって、国産資源を持たないわが国の自給率は8%にまで低下した。しかも、諸外国はパイプラインを活用しているが、わが国は全量タンカーによる輸送で、ホルムズ海峡のルートが断たれると、石油が確保できないリスクがある。再生可能エネルギーにも、例えば太陽光発電のパネルに使うレアアースは輸入に頼らなければならず、同様のリスクはある。

そこで、第4次エネルギー基本計画では、高自給率・低コスト・環境適合・安全性の視点から検討し、もっともよいエネルギーミックスの組み合わせを模索していく。具体的には、原発と再生エネルギーをそれぞれ2割の需給見通しにするほか、パリ協定の締結によるCO2削減目標達成に向けて、CO2を出さない電源の比率を30年までに44%にする。

次に、中島稔委員長より『新エネルギー関連ニュースNo.169』の解説がありました。今回は、○燃料電池の寿命延長につながる触媒の開発。劣化の原因となる炭素は不要。○金の細線を加工し、小さな温度差でも発電する電池を開発。○液体型燃料電池の開発。○中国のガソリン車規制。自国メーカーのシェアを伸ばす狙いも含まれている。○日本は電気自動車シフトに今のところ大きな遅れは取っていないが、潮流に乗れるかどうかの岐路にある。○海流発電の実証実験成功。黒潮で30kW。○豚の尿からメタンガスを抽出。稲わらを混ぜ、発酵の邪魔をするアンモニア濃度を下げる、特に豚舎は悪臭の苦情が目立ち、メタンガスにすれば臭気も抑えられる。○次世代原子炉、ポーランドへの輸出成功なるか。受注できれば1兆円規模となるが、中国も競合している。○来年度予算概算要求に三次元探査船の更新費用60億円を盛り込む。民間に貸し出すことでさらに運用を。などの解説があり、一同大いに勉強になりました。

★レクチュアにつき、当日会費 会員千円にご協力を。

次回、11月7日(火)の新エネルギー委員会に

出・欠 (いずれかに○印)

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様のFAX \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。**

**非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。**

(その際の会費は三千円となります。)

**事務局宛FAX 03-3507-8587**

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)

当日連絡先 080(8836)6203 (重田) 080(9292)2620 (高津)